

2020年度第4回理事会報告

開催日時:2020年9月11日(金) 18:00 ~ 20:00

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局 (Zoomによるオンライン開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、木原活信会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて木原会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2020年度第4回理事会」を開催するとの宣言があった。

なお、定款第47条に則り、議事録署名人として木原会長、秋元監事、市川監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より別冊資料に基づき説明があった。審議の結果、10名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2021年度業務委託契約の更新について

総務担当木下理事より、株式会社国際文献社と次年度契約を継続する案が提議され、審議した結果、満場一致で承認された。

第3号議案 「激甚災害で被災した会員の年会費軽減措置」の改正について

総務担当木下理事より、現行の措置から手続きの改正が提議され、審議した結果、満場一致で承認された。

第4号議案 学会としてのZoom契約について

総務担当木下理事より、代理店を通じたZoom契約について提議があった。事前に各地域ブロックの状況や希望等を調査し、学会として4ライセンスを契約することについて審議した結果、満場一致で承認された。

第5号議案 第70回秋季大会(2022年)および創立70周年(2024年)について

総務担当木下理事より、2022年に第70回大会、2024年に学会の創設70周年という節目の年を迎えるため、周年事業を実施するか否かについて提議があった。審議した結果、実施する方針が満

場一致で承認された。今期役員は企画、検討までの担当であり、実際に運営、実施するのは次期役員に委ねることとなるため、慎重に協議を重ねていくことを確認した。

第6号議案 その他

その他の審議事項は特になし。

IV. 報告事項

1. 2020年度会員動向

総務担当木下理事より、入会申込者数、現在の会員数および退会希望者数の報告があった。また、年会費の納入状況および納入率を確認した。8月28日に内閣府より、九州を中心とした「令和二年五月十五日から七月三十一日までの間の豪雨による災害」が激甚災害に指定された旨の公表があったため、現在学会ホームページに掲示されている申請手続きの案内を、本理事会で承認されたものへと差し替えて、再度「重要なお知らせ」に掲載して会員に周知することを確認した。

2. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当岩崎理事より、配付資料に基づき各行事の準備状況等について報告があった。

3. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当柴田理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について、配付資料に基づき報告があった。

4. 国際学术交流促進委員会からの報告

国際学术交流促進委員会担当の和気副会長より、第68回秋季大会での留学生と国際比較研究のためのワークショップの準備状況等について配付資料に基づき報告があった。

5. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当岩井理事より、今年度の審査経過および学会賞授賞式の実施について配付資料に基づき報告があった。

6. 研究倫理委員会からの報告

現在進行中の調査案件はなし。

7. 広報委員会からの報告

広報委員会担当伊藤理事より、第1回広報委員会にて協議した結果等について、配付資料に基づき報告があった。

8. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当空閑理事が欠席のため、木原会長より配付資料に基づき報告があった。本理事会の第5号議案にて70周年事業を実施する方針が承認されたことから、今後、理事会に具体的な企画案を提示するよう委員会で検討する。

9. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当保正理事より、第68回秋季大会でのスタートアップ・シンポジウムの準備状況等について、配付資料に基づき報告があった。

10. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック：感染症の影響により中止となったシンポジウムを12月13日にオンラインにて開催することにした。北海道外にも広く周知し、参加を募る予定である。
- ・東北地域ブロック：ニューズレターを刊行し、会員に周知予定である。機関誌『東北の社会福祉研究』を発刊したため、近日中に学会ホームページに掲載手配をする。設立60周年記念論文集の作成に着手し、現在編集作業中である。
- ・関東地域ブロック：2021年3月上旬に2020年度研究大会をオンライン開催する予定である。関東地域ブロック独自の研究大会奨励賞を設けているが、近年該当者が出ないことから、機関誌に掲載された論文を授賞の対象とするよう準備を進めている。現在、「若手研究者」の定義について協議しており、奨励方法の検討をしている。
- ・中部地域ブロック：幹事会を開催した。
- ・関西地域ブロック：日本社会福祉学会第17回フォーラムの開催担当ブロックのため、フォーラム担当倉田理事とともに準備を進めている。感染症の影響により中止となった第47回若手研究者・院生情報交換会の開催準備をしている。機関誌への投稿を8月31日で締め切り、現在査読の準備中である。
- ・中国四国地域ブロック：現在、ニューズレターの発行準備中である。また、次号の地域ブロック機関誌への投稿を会員に呼び掛けている。
- ・九州地域ブロック：機関誌への投稿を8月31日で締め切り、今後、査読委員会を編成して査読に入る予定である。運営委員会をオンライン開催し、来年度の研究大会の開催方法や若手研究支援等について協議予定である。

11. その他（後援依頼、関連団体からの報告、他）

・後援（協賛）依頼について

総務担当木下理事より、2件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

室田理事より、2019年度に開催予定であったシンポジウムが2度にわたり開催延期となったことから、同報告者および同内容での講演を収録し、YouTubeで配信することにしたとの報告があ

った。視聴に関して加盟学会へ周知するとともに、報告資料を印刷して加盟学会へ配付する予定である。また、加盟学会を対象とした補助金制度に1件の応募があり、現在審議中である。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

報告事項は特になし。

3) 社会政策関連学会協議会

木下理事より、前担当である金子前会長より引き継いだメーリングリストの作成を行ったとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、7月26日に理事会がオンライン開催され、2021年1月23日午後にはシンポジウムを開催予定であるが、今後の状況に鑑みてオンライン開催も検討していくとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

保正理事より9月26日に運営委員会が開催され、GEAHSS担当の高良会員が出席予定であるとの報告があった。

議長は、議事終了を告げ、20時00分に理事会を解散した。

以上